

合格例

<試験官に関して>

外国人試験官：

40代後半から50代の優しい感じの女性。発音から判断すると米国人かカナダ人。英語は声の大きさ、速度も含めて聞き取りやすかった。始終にこやかで、私の答えに1つ1つ相槌を打ってくれていた。

通訳ガイド：

30代の女性。表情がほとんどなく、名前と住所の質問のあとはほとんど下を向いてつまらなさそうに聞いていた。

人物考査試験官：

メガネをかけた30代の男性。試験中ずっと下を向いて書類を見ていた。

<面接試験の実際>

誘導係の人がドアを開けてくださって、日本語で「失礼します」と言って入室。

I: (ドアから机まで歩く間に改めて英語で) Good morning.

NS,TG: Good morning.

TG: Please have a seat.

I: Thank you. (いすが2つあったので右のいすにかばんを置いて着席)

TG: Please tell us your name and where you live.

I: My name is ~ and I live in ~ City northeast to Osaka City.

NS: I will ask you some questions about Japan. Please answer my questions as if I were a foreign tourist, OK?

I: Yes. I see. (Certainlyの方が丁寧でよかったのに・・・)

NS: You said you live in Osaka. When I visit Osaka, where do you take me in Osaka?

I: (京都の観光地ばかりを想定していたので一瞬頭が真っ白！)

Well, I will take you to the Osaka Castle. It is located in the center of Osaka and constructed by Toyotomi Hideyoshi who was one of the three famous leaders of samurai warriors about 400 years ago.

(秀吉の説明の表現は、模擬面接での先生のアドバイスが頭に残っていたので、口から勝手に出てしまった感じだった。)

NS: What is in there?

I: (今の説明ではつまらなかったのかな？とあせりつつ・・・)

There is the castle (あたりまえです！！) with a great stone wall.

(石垣の建設にはピラミッドみたいに気の遠くなるような人の労力がか

かったと説明を続けたかったが、次の質問へ)

NS: I see.

私は侍や武士道の精神について興味があるのよというようなコメントの後、

Can you find the spirit of “Bushido” living even today?

I: (全く準備していなかった質問でふたたび頭が真っ白！もしかして、さっきの豊臣秀吉から連想された質問なのかな？必死で頭の片隅に残っていた武士道のキーワードを引っ張り出し)

Let me see..., When we try to do something, we need courage. When something has been achieved, we feel honor. “Bushido” is the way of Bushi, warriors in which courage and honor (もう1つのキーワード loyalty がどうしても思い出せなくて省いてしまった) are much emphasized. These two values are cherished even in our daily life today.

NS: I see. Next question.

What do you think about the postal privatization?

I: Done by Prime Minister Koizumi?

(あー、あたりまえのことを聞き返してしまった・・・)

NS: Yes.

I: (この質問は授業で練習していたので思い出しながら) I support his policy. I think when it is done, much money comes into the private sector from the post office and they can make use of it to stimulate Japanese economy.

NS: OK. What is Obi?

I: Obi is a broad sash tied in the back to fasten (手を後ろに回して帯を結ぶしぐさをしながら) Kimono, the Japanese traditional robe with long sleeves. There are various ways of tying Obi and they are a part of Kimono design.

NS: (唐突に) Thank you.

I: (最初は答えに対する Thank you. なのかなと思って次の質問を少し待ったが、終わりの合図だと気づいた。えっ、もう終わり！？やっと調子が出てきたのに、何てあつけないと思ながら)

Thank you.

(ここでようやく TG と GO も顔をあげたので3人の顔を見ながら)

Thank you for giving me this opportunity.

立ち上がり、いすをもとにもどして退出、ドアの前で一礼した。

<反省点、今後の課題、後輩へのアドバイス>

外国人試験官は愛想がよく、始終にこにこしながら相槌をうってくれましたが、通訳ガイドと人物考査試験官はずっと下を向いていたので、アイコンタクトが全くといっていいほど取れなくて面接中ずっと不安でした。でも、できるだけ笑顔で3人に等分に視線を送るよう心がけました。

大阪に住んでいるのだから、大阪の観光地は当然押さえておくべきでした。2次対策授業で「観光地を聞かれたら、場所と季節を限定すること」と解答のコツをせっかく伝授していただいていたのに、さらにクラスでは箕面の紅葉や大阪城の桜なども出ていたのに、とっさには答えられなかったのが残念です。大阪城についての説明も、石垣よりは、「天守閣の中がエレベーター付きの博物館になっている」と言った方がずいぶん盛り上がっただろうかと、面接後、悔やまれてなりませんでした。

2つ目の質問の「武士道の精神」については、うまく答えられなかったので、面接後もずっと答えを探し続けていましたが、つい最近、武士道の1番の価値は「潔いこと」「卑怯でないこと」とテレビで解説しているのを見て、これを核に答えればよかったと後悔を深くした次第です。もうずいぶん「あとのまつり」ですが…。

準備していなかった質問が2つ出ましたが、沈黙を避けるために考えがまとまりきらないうちに反射的に口が動いてしまった感じで、話し始めてからどうまとめようかを考えていました。もう少し間をおいて、考えてから答える余裕があればよかったと反省しています。